平成28年3月期 第3四半期決算短信[日本基準](非連結)

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社ニチリョク

上場取引所 東

コード番号 7578 URL http://www.nichiryoku.co.jp

(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 寺村 久義

問合せ先責任者(役職名)専務取締役経営統括本部長 (氏名) 矢田 欣也

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 無 四半期決算説明会開催の有無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日~平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

TEL 03-3396-3052

(1) 11 11 12 13 13 (3) 15 (3)								200 1 200 HWW 1 7
	売上	高	営業和	J益	経常和	J益	四半期紅	机益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	2,498	8.8	58		△12	_	△26	-
27年3月期第3四半期	2,295	△11.2	△9		△96	_	△79	-

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円銭
28年3月期第3四半期	△2.15	<u> </u>
27年3月期第3四半期	△6.38	_

(2) 財政状態

(=) X1-2()(1)				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	11,778	3,618	30.7	289.53
27年3月期	11,704	3,738	31.9	299.17

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3.618百万円 27年3月期 3.738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円銭	円銭	円 銭	
27年3月期	_	0.00	_	7.50	7.50	
28年3月期	-	0.00	_			
28年3月期(予想)				7.50	7.50	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の業績予想(平成27年 4月 1日~平成28年 3月31日)

								(%表	示は、対前期増減率)
	売上高	回	営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	3,750	10.1	240	9.5	110	16.8	55	62.5	4.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	13,741,014 株 27年3月期	13,741,014 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,243,834 株 27年3月期	1,243,834 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	12,497,180 株 27年3月期3Q	12,498,430 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

スローポリンスがある。 この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

不資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

株式会社ニチリョク (7578) 平成28年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に	関する定性的情報	2
(1)経営成績に	関する説明 ······	2
(2) 財政状態に	関する説明	3
(3)業績予想な	どの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報	注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務	諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の	変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提	に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表		4
(1) 四半期貸借	対照表	4
(2) 四半期損益	計算書	6
第3四半期	累計期間	6
(3) 四半期財務	諸表に関する注記事項	7
(継続企業の	前提に関する注記)	7
(株主資木の	全類に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化や中東圏の緊張、米国利上げ等の外的要因により、金融経済は一進一退の形で終えました。

一方の実体経済は、訪日客消費や原油安による下支え要因はあったものの、名目賃金の伸び悩み等から足踏み状態となりました。

当社が属する供養産業は、死亡者が増加傾向にあるにもかかわらず、霊園事業においては、埋葬の選択肢の多様化に伴い、比較的高価格となる墓地墓石の購入者は年々減少傾向にあります。この流れに対応すべく当社は、様々なお墓の形態を兼ね備えた霊園を開発、開園すると共に、供養の全てを網羅し、価格においてもご満足いただける堂内陵墓事業の拡充を図っております。

葬祭事業においては、葬儀の小規模・地味化傾向が顕著となる中、インターネット媒体を中心に業者間の価格競争は激化し、顧客単価が一層下落するという厳しい環境下にあるものの、生花祭壇葬「愛彩花(あいさいか)」と共に、家族葬を中心としたラステル葬が消費者から支持を受け、施行は堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高24億9千8百万円(前年同四半期比8.8%増)、営業利益5 千8百万円(前年同四半期営業損失9百万円)、経常損失1千2百万円(前年同四半期経常損失9千6百万円)、四 半期純損失2千6百万円(前年同四半期純損失7千9百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①需園事業

屋外墓地につきましては、埋葬の選択肢の多様化に伴い比較的高価格となる墓地墓石の買い控えや小規模区画傾向が続く消費動向に対応すべく、広告並びに販売戦略の見直しを適宜行うと共に、昨年8月「横浜三保浄苑(横浜市緑区)」及び同11月「櫻乃丘聖地霊園(千葉県流山市)」が新規開園、募集販売を開始したことから、売上高は8億9千2百万円(前年同四半期比22.1%増)となりました。

②堂内陵墓事業

第五号「両国陵苑(東京都墨田区)」は、消費者の価値観を超える重厚な施設と好立地が反響を呼んでおり、計画を 上回る販売実績をあげております。売上高は5億1百万円(前年同四半期比5.5%増)となりました。

③葬祭事業

死亡者数が年々増加傾向にある中、当社は終活セミナー等を開催し、潜在顧客を受注に繋げる取り組みを積極的に行っております。会員制の生花祭壇葬「愛彩花」並びに家族葬・直葬施設を併設した独自のブランド「ラステル(ラストホテル)」は、「小規模でありながらも心のこもった葬儀」を望む現代の消費者から好評を得ており、施行件数は双方共堅調に推移しました。売上高は11億4百万円(前年同四半期比1.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、117億7千8百万円となり、前事業年度末に比べ7千3百万円増加しました。

流動資産は、前事業年度末に比べ、1億7千3百万円減少し、35億3千6百万円となりました。その主な要因は、 売掛金7千8百万円及び現金及び預金7千2百万円の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ、2億4千6百万円増加し、82億4千1百万円となりました。その主な要因は、 差入保証金10億3千万円の増加、霊園開発協力金8億3千3百万円の減少によるものです。

流動負債は、前事業年度末に比べ、9千4百万円増加し、34億2千万円となりました。その主な要因は、短期借入金1億8千9百万円の増加、1年内償還予定の社債6千6百万円及び1年内返済予定の長期借入金4千7百万円の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べ、9千8百万円増加し、47億3千9百万円となりました。その主な要因は、長期借入金1億8千1百万円の増加、社債1億4百万円の減少によるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ、1億2千万円減少し、36億1千8百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金1億2千万円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月8日の「平成27年3月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 該当事項はありません。
- 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

		(単位:十円)
	前事業年度 (平成27年 3 月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 599, 320	2, 527, 311
完成工事未収入金	39, 625	16, 179
売掛金	218, 612	139, 693
永代使用権	311, 423	265, 977
未成工事支出金	288, 235	359, 064
原材料及び貯蔵品	132, 486	107, 004
その他	120, 495	121, 188
貸倒引当金	△41	△16
流動資産合計	3, 710, 157	3, 536, 403
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1, 025, 100	970, 493
土地	1, 535, 523	1, 535, 523
その他(純額)	20, 786	19, 308
有形固定資産合計	2, 581, 410	2, 525, 325
無形固定資産	196, 635	251, 674
投資その他の資産		
長期貸付金	140, 234	136, 947
差入保証金	1, 383, 044	2, 413, 548
霊園開発協力金	2, 183, 269	1, 349, 949
その他	1, 547, 504	1, 595, 405
貸倒引当金	$\triangle 37,299$	△31, 098
投資その他の資産合計	5, 216, 754	5, 464, 752
固定資産合計	7, 994, 799	8, 241, 752
資産合計	11, 704, 957	11, 778, 156
負債の部		
流動負債		
買掛金	76, 497	93, 844
短期借入金	326, 622	516, 228
1年内返済予定の長期借入金	1, 709, 110	1, 661, 220
1年内償還予定の社債	613, 800	547, 800
未払法人税等	4, 489	1, 512
賞与引当金	31,900	14, 900
その他	563, 322	585, 030
流動負債合計	3, 325, 741	3, 420, 536
固定負債		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
社債	1, 055, 800	951, 000
長期借入金	3, 101, 003	3, 282, 640
退職給付引当金	285, 701	297, 586
役員退職慰労引当金	174, 109	182, 657
その他	23, 832	25, 416
固定負債合計	4, 640, 446	4, 739, 300
負債合計	7, 966, 188	8, 159, 836
AND HEL	1,000,100	0, 100, 000

(単位:千円)

		(1)
	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 306, 842	1, 306, 842
資本剰余金	958, 082	958, 082
利益剰余金	1, 683, 650	1, 563, 072
自己株式	△227, 809	△227, 809
株主資本合計	3, 720, 766	3, 600, 188
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42, 382	45, 575
繰延ヘッジ損益	△24, 379	△27, 444
評価・換算差額等合計	18, 002	18, 131
純資産合計	3, 738, 769	3, 618, 319
負債純資産合計	11, 704, 957	11, 778, 156

(2)四半期損益計算書 (第3四半期累計期間)

(単位:千円)

		(+ <u>\pi</u> · 1)
	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	2, 295, 885	2, 498, 727
売上原価	773, 981	829, 675
売上総利益	1, 521, 904	1, 669, 051
販売費及び一般管理費	1, 531, 273	1, 610, 382
営業利益又は営業損失 (△)	△9, 369	58, 669
営業外収益		
受取利息	3, 216	2, 439
受取配当金	12, 844	11, 044
その他	17, 749	22, 114
営業外収益合計	33, 809	35, 597
営業外費用		
支払利息	93, 194	98, 810
その他	27, 444	7, 762
営業外費用合計	120, 638	106, 572
経常損失 (△)	△96, 198	△12, 305
特別利益		
固定資産売却益	<u> </u>	0
特別利益合計		0
特別損失		
固定資産除却損	84	0
特別損失合計	84	0
税引前四半期純損失 (△)	△96, 283	△12, 304
法人税、住民税及び事業税	6, 586	12, 142
法人税等調整額	△23, 090	2, 402
法人税等合計	△16, 503	14, 544
四半期純損失(△)	△79, 779	△26, 849

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。